

プッシュマスター樹脂ヘッダー(CJヘッダー)専用支持バンド取扱説明書

プッシュマスター樹脂ヘッダー(CJヘッダー)は、「CJヘッダー専用支持バンド」(保温材無用ヘッダー用支持バンド及び保温材有用ヘッダー用支持バンドの総称)を用い、本取扱説明書「2. 施工方法」及び「4. 施工上の注意」に従って施工して下さい。

1. サイズ・仕様 CJヘッダー専用 支持バンド(床・壁・天井吊り兼用)

■ 保温材無用ヘッダー用支持バンド(写真1)

分岐口数	構成部材	
	低台支持バンド	支持バンド用プラケット
CJ-C(9)	2	2
3~5	2	2
6~8	3	3
9~11	4	4
12~14	5	5

■ 保温材有用ヘッダー用支持バンド(写真2)

分岐口数	構成部材	
	低台支持バンド	支持バンド用プラケット
CJ-H(9)	2	2
3~5	2	2
6~8	3	3
9~11	4	4
12~14	5	5



写真1: 保温材無用ヘッダー用支持バンド



写真2: 保温材有用ヘッダー用支持バンド

* 1: 支持バンド用プラケットは床面・壁・天井に設置することができます。

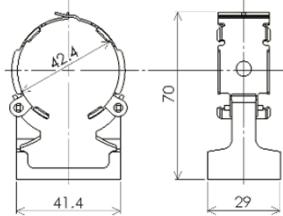
* 2: CJ-C,CJ-Hは、コンクリートへの固定の場合、下穴加工の後、

Φ4~5×32mmのコンクリートビス(なべ)の使用を推奨します。

* 3: CJ-C9, CJ-H9は製品台座部の固定用穴が9.5mm長穴タイプです。

■ CJヘッダー支持ピッチ

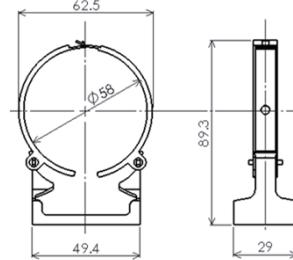
サイズ	略号	分岐口サイズ	L
CJSS	SS	10J	53mm
CJMS	MS	13J	53mm
CJLS	LS	16J	59mm



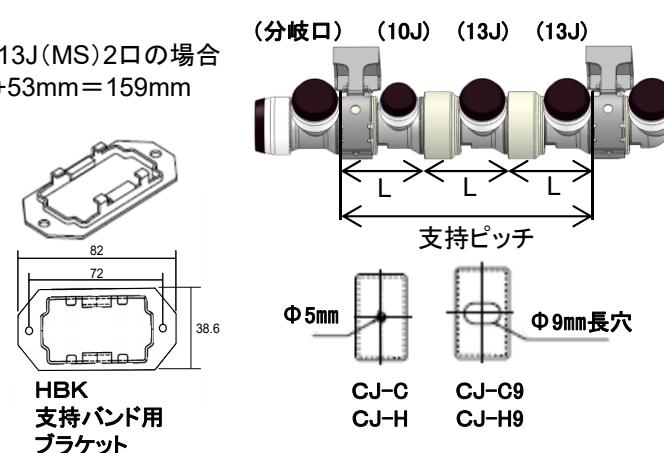
CJ-C, CJ-C9
保温材無用ヘッダー用
低台支持バンド

【支持ピッチ】(例)

- ・分岐口サイズ 10J(SS)1口, 13J(MS)2口の場合
- ・支持ピッチ=53mm+53mm+53mm=159mm



CJ-H, CJ-H9
保温材有用ヘッダー用
低台支持バンド



HBK
支持バンド用
プラケット

2. 施工方法

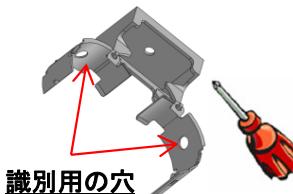
【施工手順(天井に設置)HBKを使用しない場合】

- 1 天井面に支持バンド固定位置を墨出しこする。
(支持ピッチは上記の例を参照下さい。)

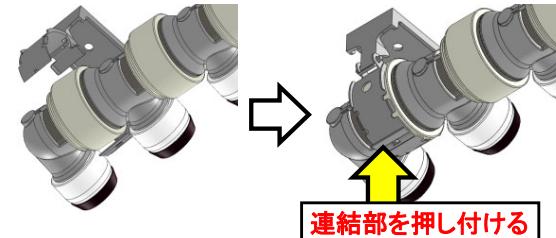
例1) キャップ部端部を目印に天井面にマーキングする。



- 2 下穴をあけ、支持バンドを天井に固定する。
(CJヘッダーを外した状態で、行って下さい。)



- 3 下図のように、固定した支持バンドに、樹脂ヘッダーの連結部(灰色)を軽く押し付けるようにして留める。バンドが勘合したことを確認下さい。



連結部を押し付ける

【施工手順(床面に設置)HBKを使用する場合】

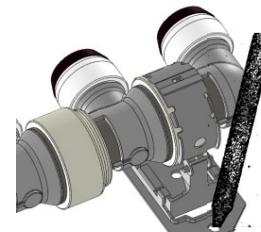
- 1 下図のように、支持バンドに樹脂ヘッダーの連結部(灰色)を軽く押し付けるようにして留める。支持バンドが勘合したことを確認下さい。
(支持ピッチは上記の例を参照下さい。)

連結部を押し付ける



識別用の穴

- 2 支持バンド固定位置を下地材に墨出しこする。



- 3 下穴をあけ、支持バンドを下地材にビス固定する。
(CJヘッダーを装着した状態で固定可能です。)



4 設置完了(支持バンド間の分岐口数3口以内)

【天井に設置】

支持バンド: CJ-C(9)



【床面に設置】

支持バンド: CJ-C(9)



- ・CJヘッダー専用支持バンドには、NJヘッダー専用支持バンドとの識別用の穴が空いております。CJヘッダー施工時には、支持バンドに識別用の穴が空いていることを確認してから固定して下さい。
(NJヘッダー専用支持バンドは使用出来ません。)
- ・支持バンドに変形がないことを確認して下さい。
- ・樹脂ヘッダーは支持バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定し、曲げ応力がかからないように施工して下さい。(固定位置は、裏面参照下さい。)
- ・異物侵入防止のため、防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。

(裏面もご覧下さい⇒)

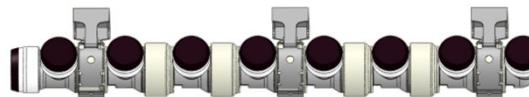
3. 各分岐口数での支持バンド固定位置(例)

【支持バンドサイズ】 CJ-C、CJ-C9、CJ-H、CJ-H9

(分岐口数)3口 (支持個数)2個



(分岐口数)4口 (支持個数)2個



(分岐口数)9口 (支持個数)4個



(分岐口数)5口 (支持個数)2個



(分岐口数)10口 (支持個数)4個



(分岐口数)6口 (支持個数)3個



(分岐口数)11口 (支持個数)4個



(分岐口数)7口 (支持個数)3個



(分岐口数)12口 (支持個数)5個



(分岐口数)13口 (支持個数)5個



支持バンド固定位置設定上の注意

(1)樹脂ヘッダー両端の分岐口の1つ内側を固定下さい。

(2)また、支持バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定して

下さい。ただし、保温材無ヘッダーにダブルピース(2連ヘッダーピース)が

来る場合は、支持バンドの間の分岐口数が2口以内になるピッチで固定して下さい。



支持バンド固定位置

ダブルピース

4. 施工上の注意

- (1)樹脂ヘッダー及び専用架台に乗ること、蹴ること、重量物の積載などはしないで下さい。樹脂ヘッダーが破損する恐れがあります。樹脂ヘッダー及び専用架台の施工後に、踏まれたり重量物が置かれたりするなどの可能性がある場合は、現場管理者と相談の上、十分な注意喚起と予防措置の実施をして下さい。
- (2)樹脂ヘッダーは専用架台で固定して下さい。専用架台で樹脂ヘッダー全体を支える構造となっています。専用架台を使用せず、樹脂ヘッダーの下地への直固定や、樹脂ヘッダーを浮かせて設置する事は避けて下さい。
- (3)支持バンドの着脱の際には支持バンドが変形しないようご注意下さい。変形した場合、樹脂ヘッダーが保持できなくなる可能性があります。取外しの際には、樹脂ヘッダーを設置面方向に押しながら勘合部を外すことで取外しができます。
- (4)支持バンドは保温材無用ヘッダー用と保温材有用ヘッダー用で異なります。必ず専用の支持バンドで固定して下さい。
- (5)ビスの下穴加工やビス固定の際は、樹脂ヘッダーに傷をつけない様に注意して下さい。
- (6)固定後の樹脂ヘッダーへのぶら下がりおよび巻きパイプのぶら下げ等、樹脂ヘッダーに曲げ荷重のかかる行為は行なわないようご注意下さい。曲げ荷重は樹脂ヘッダー破損などの原因になります。
- (7)支持バンドの着脱の際に、樹脂ヘッダーやパイプに傷をつけないよう注意して下さい。
- (8)異物侵入防止のため樹脂ヘッダーのパイプ接続口に取付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。
- (9)専用架台部材の端部で怪我および他部材への傷付が発生しないよう注意して下さい。
- (10)プッシュマスター樹脂ヘッダー以外に対して専用架台を使用することや、使用後の専用架台を他の施工現場で再度使用することはしないで下さい。
- (11)樹脂ヘッダー及び専用架台に防蟻剤や防腐剤等の薬品が掛からないように注意して下さい。付着により劣化、損傷する可能性があります。
- (12)パイプ接続完了後、必ず水圧又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認して下さい。
- (13)プッシュマスター樹脂ヘッダーには、プッシュロックIIの樹脂ヘッダー部材や継手類、プッシュマスター組立自在樹脂ヘッダー(NJヘッダーピース)は接続出来ません。必ず、プッシュマスター製品(NJヘッダーを除く)のみを使用して下さい。
- (14)樹脂ヘッダーへのパイプ接続に際しては、プッシュマスターカタログに記載する『パイプ接続手順』、『接続作業・その他注意』、『施工及び保管上の注意』に従って作業を行って下さい。